

## 境港カーボンニュートラルポート形成協議会（第1回）開催概要

- 国（国土交通省）では、輸出入貨物の99.6%が経由する国際物流拠点であり、CO<sub>2</sub>排出量の約6割を占める産業の多くが立地する港湾において、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて「カーボンニュートラルポート（CNP）」を形成し、我が国の脱炭素社会の実現に貢献することとしている。
- 境港においても脱炭素社会を実現するため、荷主、船社、荷役業者、背後企業等の港湾関係者が参画する協議会を設置し、官民一体となって実効性のあるCNP形成計画を策定していく。
- 令和4年10月17日（月）に第1回境港CNP形成協議会を夢みなとターミナルにおいて開催し、協議会を設立、CNPに向けた検討内容や今後のスケジュールについて共有を行った。

### ■開催概要■

1 日 時： 令和4年10月17日（月）15：00～16：45

2 場 所： 境夢みなとターミナル 待合ホール

3 構 成 員： 別紙1 構成員 参照

4. 議 事： 別紙2 議事次第 参照

### 5 議事概要

- 事務局から本協議会の目的・役割・進め方について説明を行い、協議会において境港CNP形成計画（案）を策定していくことを確認した。
- 構成員の中国地方整備局より、徳山下松港におけるCNP形成計画の策定状況や他港湾の状況について、情報提供を行った。
- 協議会に参加した構成員、オブザーバーとの意見交換を行った。

### 【主な意見】

- ・脱炭素には、省エネ・創エネ・オフセットがあり、特に新エネルギー技術という点で創エネに着目されることが多いが、まずは、着手しやすい省エネを推進することが良いと考える。
- ・脱炭素によりエネルギー源を一元化した場合、災害発生時に港湾機能の維持に懸案がある。災害時にも港湾機能を維持できる範囲で計画していく必要がある。
- ・脱炭素の価値を見える化していくことが重要。バイオマスや太陽光といった再生可能エネルギーが立地している境港の特徴に合わせた検討を行う必要がある。
- ・脱炭素を目的化せず、脱炭素を手段として、港湾の競争力強化のため検討を行っていく必要がある。
- ・次世代エネルギーへの転換等、夢の産業に向かって発展していくチャンスと捉えている。



(別紙1)

境港カーボンニュートラルポ<sup>o</sup>ート形成協議会 構成員

(敬称略、順不同)

役 割	区 分	企業名等
構 成 員	有 識 者	公立鳥取環境大学
構 成 員	関 係 企 業	NX境港海陸株式会社
構 成 員	関 係 企 業	株式会社上組
構 成 員	関 係 企 業	三光株式会社
構 成 員	関 係 企 業	株式会社日新
構 成 員	関 係 企 業	合同会社 境港エネルギーパワー
構 成 員	関 係 企 業	東西オイルターミナル株式会社
構 成 員	関 係 企 業	隠岐汽船株式会社
構 成 員	関 係 団 体	境港商工会議所
構 成 員	関 係 団 体	松江商工会議所
構 成 員	関 係 団 体	まつえ北商工会
構 成 員	関 係 行 政 機 関	国土交通省 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所
構 成 員	関 係 行 政 機 関	境港市
構 成 員	関 係 行 政 機 関	松江市
オ ブ ザ ー バ ー	民 間 企 業	ローカルエナジー株式会社
オ ブ ザ ー バ ー	国	環境省 中国四国地方環境事務所
オ ブ ザ ー バ ー	国	国土交通省 中国運輸局
オ ブ ザ ー バ ー	地 方 公 共 団 体	鳥取県
オ ブ ザ ー バ ー	地 方 公 共 団 体	島根県
事 務 局	港 湾 管 理 者	境港管理組合

## 境港カーボンニュートラルポ<sup>o</sup>ート形成協議会（第1回）

日時：令和4年10月17日（月）15時00分～

場所：境夢みなとターミナル 待合ホール

（鳥取県境港市竹内団地 252-1）

### 議 事 次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

- 1) 境港カーボンニュートラルポ<sup>o</sup>ート形成協議会設置要綱
- 2) カーボンニュートラルポ<sup>o</sup>ート形成計画について
- 3) 今後の予定について
- 4) 情報提供
- 5) 意見交換

4 その他

5 閉 会